



秋風の魔法
ここにも



表紙：原木栽培しいたけ

上：野の花観音径・東屋/11月中旬

近江
里山
寿長生の郷
晩秋

叶
匠
壽
庵

はなこよみ

開花時期は例年のもので、多少前後します。

10月	11月	12月
サクラタデ	ツワブキ	
アケボノソウ	センリョウ・ナンテン・マンリョウ・ヤブコウジなど	
	ヤマラッキョウ	
ヒヨドリバナ		
アキチョウジ	フユイチゴ	
シモバシラ	コウヤボウキ	
ウメバチソウ	茶の花	
	ササリンドウ	
キツリフネ	リュウノウギク	
サラシナショウマ		藪 椿
オトコエシ		
ツリガネニンジン	アワコガネギク	
	秋咲き～早咲き椿	
	オヤマボクチ	
エンシュウハグマ	柚子実り～収穫	
ノコンギク・ヨメナ		
コスモス	山茶花	
	雑木林紅葉	
木の実／ムラサキシキブ、ニシキギ、ガマズミなど		
寒露	霜降	立冬
		小雪
		大雪
		冬至

叶 匠 壽 庵 すな い 寿長生の郷 <http://www.sunainosato.com/>
〒520-2266 滋賀県大津市大石龍門4-2-1 TEL:077-546-3131

山茶花

サザンカ 散って美しい花がありますね、サザンカもそのひとつ。おまけにハートマーク。

山 辣 萼

ヤマラッキョウ ネギの仲間です。いうなれば、ちよっぴりめかしたネギ坊主。そういえばニラの花もきれいです。

花 欄

カリン 地面に落ちているよりも誰かが拾う誰かがなでる。このほうが自然 すてき。



黄 葉

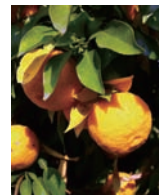
コウヨウ 紅葉は本来、黄葉だったといひます。人の暮らしに寄り添う木々の、おだやかに深ける里の色合い。

柚 子

ユズ 植えた苗木が枝葉を伸ばしやがて花が実を結ぶ。そのぜんぶが欲しくて。

曙 草

アケボノソウ 種を蒔き、次の年には植え替えて、ひと手間かかる二年草です。だけど・だから、種取りの愉しみ。



～巡る季節をめぐる道～

野の花観音径

晩秋

のご案内

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ① サクラタデ | ⑧ シモバシラ | ⑮ ツリガネニンジン |
| ② アケボノソウ | ⑨ コウヤボウキ | ⑯ オヤマボクチ |
| ③ ヤマラッキョウ | ⑩ ササリンドウ | ⑰ エンシュウハグマ |
| ④ ヒヨドリバナ | ⑪ キツリフネ | ⑱ ノコンギク |
| ⑤ センリョウ | ⑫ リュウノウギク | ⑲ コスモス |
| ⑥ アキチョウジ | ⑬ サラシナショウマ | ⑳ ワレモコウ |
| ⑦ フユイチゴ | ⑭ オトコエシ | |

◇野の花観音径◇

コナラ、椿、ツツジなどが原生する林に、小さな茅葺の東屋を設け、小道や流れをめぐる野趣あふれる郷の庭園です。木々の足元では、古くからなじみある日本の山野草たちが静かに折々のときを告げます。

落ち葉のあとの山仕事

寒さを待ってする仕事があります。剪定や移植、マルチング…。そして広い敷地を管理していく上で欠かせない大事な作業、きこり。伐採、間伐で伐った木は、炭や階段の横木、杭、しいたけのホダ、薪、などなど、郷の維持には欠かせない資源となります。

梅林

炭焼小屋

←山寿亭・売店

川床テラスカフェ

カフェの自慢、モミジの見頃は例年11月です。12月中旬からは山寿亭内『囲炉裏カフェ』に引越し。冬期限定の温かメニュー、蟹雑炊がおすすめです。

えんしゅうはぐま
遠州白熊

柚子畑

山羊放牧地

野の花観音(●印)

大地への祈りと感謝を込めて据えられた石彫りの観音は全部で35体。マップとあわせ散策の目印にもなってくれます。原画は比叡山延暦寺の壁画で知られる広本画伯によるもので、個々が表情も豊かに命名された野の花を手になっています。

のこんぎく
野紺菊

もちつつじ
繡躑躅

どうだんつつじ
燈台躑躅
満天星躑躅

くろもじ
黒文字

ささりんどう
笹竜胆

紙すき工房

辛夷

福寿草

笹百合

大文字草

延齢草

山吹

山の小屋

春蘭

杜鵑草

空木

碓草

沢飛び

秋明菊

撫子

雪割草

二輪草

桔梗

下野

天人草

万両

水引

千代見草

水仙

蓮池

女郎花

二人静

曙草

睡蓮

山紫陽花

吉祥草

おやまぼくち
雄山火口

さらしなしょうま
晒菜升麻

母子草

長屋門

八代池

オススメコース

看板

九蓋草

月見草

水田

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋

東屋